●報告 現代自然科学の全体観一現在自然科学における弁証法的自然像―/稲生勝 ●報告 プロセス哲学の有機体論/平尾始 ●シンボジウムのまとめ/黒崎剛

研究発表

●「蜜蝋の分析」についての考察/吉田健太郎 ●「包摂」について/永井俊哉 ●理性と幸福一C.ヴォルフ『ドイツ語倫理学』第一部第三章の紹介/菅沢龍文

#### テーマ別分科会

●やさしいということについて/太田学 ●デカルト『情念論』に於ける <passion>理解をめぐって/美頭千不美 ●近代日本における「哲学」の問題/平山 洋

#### 第 20 号

シンポジウム 自然と人間―その倫理的考察― ●報告 プラトンの技術観/小野木 芳伸 ●報告 カント哲学の限界内における環境倫理学の可能性/小野原雅夫 ●報告 日本における自然と人間―その倫理的 考察―/平山洋 ●シンポジウムのまとめ/頼住光子

# テーマ別分科会

●種差別か、しらずんば能力差別か?ーピーター・シンガーはいかにして障害新生児の安楽死を擁護するかー/土屋貴史 ●デカルト『情念論』に於ける<passion>理解をめぐって/美頭千不美 ●ウェーバー社会学における物象化論の位置/鈴木宗徳研究発表

●ヤスパースの「超越論的」感性論―『哲学的論理学・遺稿』よりカテゴリー論をめぐって―/今本修司 ●アランのシーニュ論/河津邦喜 ●超越論的システム論の可能性/永井俊哉 ●ウェーバー研究は何を求めているか/橋本直人

#### 第 21 号

シンポジウム 道徳の根拠

●道徳の求めに従うわけ(理由)/大庭健
◆大庭健「なぜ道徳を気にしなければいけないか」の批判/永井均 ●道徳的根拠の
妥当性の基礎付けに向けて/永井俊哉 ●
シンポジウムのまとめ/土屋貴志

#### 研究発表

●「ホワイ・ビー・モラル?」の答え一客 観主義への批判―/三石稔憲 ●カント道 徳哲学における定言命法の意義―定言命法 は道徳的判定のテストたりうるか―/矢嶋 直規 ●歴史と認識/松本俊吉

第 22 号

1000円

シンポジウム 認識論はどこへゆく?

●存在論と認識論/鬼界彰夫 ●認識論における>基礎づけ主義<と>反基礎づけ主義<ととび基礎づけ主義<との攻防/松本俊吉 ●シンポジウムのまとめ/美頭千不美

# ディベート&ディスカッション

●自由と規範一積極的安楽死を認めるべきか積極的安楽死容認の根拠について一ディベート肯定側立論および補遺/金澤秀嗣・平出晋 ●積極的安楽死を認めるべきか一否定側提題/橋本直人・鈴木宗徳 ●ディベート&ディスカッションはいかにして若手ゼミで行われたか/土屋貴志

# 研究発表

●芸術の可能性―ハイデガーを手引きとして/小柳美代子 ●人間的自然と道徳一ヒュームにおける道徳の基礎づけをめぐって/矢嶋直規 ●ハンナ・アレントにおける「判断力」概念/今本修司 ● 不法支配に対抗するための法哲学新しい自然法一金近代自然法論と法実証主義の書一その"道徳的意義"へのアプローチ/清水明美

第 23 号

1000円

シンポジウム 近代の人間モデルとフェミニズム

●フェミニズムと決断の主体/田崎英明 ●ヘーゲルと近代的個人/石川伊織

●「プロレタリア」概念の再構築―「フェミニスト世界システム論」の視覚から―/古田睦美 ●報告/細谷実

ディベート&ディスカッション 自由意志 に基づく売春なら悪くないか

●「単純売春の非犯罪化に向けて」―刑事政策論的展開と法哲学的アプローチ―/ 金澤秀嗣 ●さまよう魂「分析批評」による「子守り歌」/中村裕子 ●報告/河野哲也

#### 個人研究発表

●フェミニズムと科学論の界面を議論するための試論―若干の文献紹介と、簡単な研究プログラムの提起―/塚原東吾 ●理性批判と神/森禎徳 ●カントの超越論・ 一貫対立の統合を目指して一ブリュデュー理 論の研究実践への方法論的展開―/三浦直子 ●言語における「理解」と「知識」/

前田泰樹 ●緒『視点』という著作の本質 について/斉藤彰範 ●「現代倫理学」と 教育学の接点/小幡啓靖

第 24 号

1000円

シンポジウム 宗教をどう捉えるか

●ニーチェのニヒリズム批判/千葉一弥 ●開かれた宗教を目指して/森禎徳
●社会学的「宗教研究」批判の試み一現代の家族変容と新宗教―/三浦直子 ●ドグマとカオスの間で―シンポジウム「宗教をどう捉えるか」まとめ―/橋本直特別報告 ディベートについて考える

●報告/藤田祐一

# 個人研究発表

●『判断力批判』における快の感情について/甲田純生 ●フッサールにおける述定意味ー前期ハイデガーとの比較考察―/星揚一郎 ●ハイデガーの真理概念―トゥーゲントハットによる批判を中心―/佐々木護 ●現代社会とエントロビー/松本俊吉 ●ヘーゲルの知られざるトリアーデー『精神現象学』の理念型―/小屋軟琢己●カントの空間概念について―『純粋理性批判』超越論的感性論の考察―/近堂秀●ニーチェの言語論/千葉一弥

#### 第 25 号

1000 円

創立 25 周年特別企画 若手ゼミ創立まで

●「若手哲学ゼミ」25 周年に寄せて/吉田傑俊 ●「若手ゼミ」創設の想い/吉田 千秋

シンポジウム アートを哲学する

●哲学と神学のはざまで一美と芸術の形而上学の歴史を展望する一甲田純生 ●老いと美一アドルノ、ドヴォルジャックの「晩年様式」論一/三崎和志 ●「アート」の概念を問いなおす一現在の流行現象を中心として一/石田香里 ●シンポジウム報告と討論のまとめ/小柳美代子

#### 個人研究発表

●喜劇的なものの否定カーへーゲル美学に関する一考察―/河野正宏 ●反省と形而上学―へーゲル「仮象」の論理の一解 釈―/大河内泰樹 ●情緒的直覚主義における一考察―M・シェーラー「倫理学における形式主義と実質的価値倫理学」―/上村 ● 「弁証法」とことのだものー/村田憲郎 ●写真の喚起力と破壊カー

写真のメディア論のために─/小屋敷琢己 ●ヨハン・ベルヌーイによる力学の原理の 探求一自然学としての力学─/野濹聡

第 26 号

1000円

シンポジウム 身体論再考の試み

●「身体論再考」について/河野哲也 ●身体の現在/福田泰子 ●身体技法の共 有と「キモチ」の共有一東京エイサーシン カを事例に一/小林香代

# 個人研究発表

●ホワイトへッドの哲学についての若干の考察/中村友 ●実質的正義の追求といわゆる遡及効の禁止について一<ラートブルフの公式>をめぐって/金澤秀嗣 ●人間と有機体の存在論的差異―ハイデガー有機体論の意義と射程―/斉藤元紀 ●ニーチェの「人間」批判―ドゥルーズ『ニーチェと哲学』再読―/村田憲郎 ●「取り囲む」こと―『探究』の Umgebung 概念をめぐって―/水本正晴

# 第 27 号

1000円

テーマレクチャー 時間論

●『時間と意味』(講演要旨)/斎藤慶典 ●アリストテレスの<今>―『自然学』時間論の<現在主義>―/篠澤和久 ●人格の時間的同一性と責任/弓削隆一

#### 個人研究発表

●時間に関してオズマ問題は存在しないか/柏端達也 ●『純粋理性批判』における理性の関心一理論的理念をめぐって一/西村名穂美 ●時計に表される時間/氷川雅則 ●自我の階層性と時間の理解/福田教史 ●「比較」の技法―バラボレー、エイコン、シミリトゥード、イマーゴー/星屋雅博

# 第 28 号

1000円

テーマレクチャー 道徳の根拠 ● 道徳の"規拠" / 土度健 ● 免さ

●道徳の"根拠"/大庭健 ●費さず、怯 えずー倫理の理由律の倫理/小泉義之 ● 自由・民主主義道徳の根拠/笹澤豊

# 個人研究発表

●われわれと違う真理概念を考えることは可能か/岩沢宏和 ●「倫理学の自然化」をめぐって一クワインとフラナガンを中心に/木島泰三 ●趣味判断批判の論点一主観的原理の発見が認識批判にもたらすもの/北野安寿子 ●信念文の論理形式について一信念文のパズルに対する単文のパ

ズルの影響/小山店 ●情動的態度―ベルクソンから情動の現象学へ/塩野直之 ● デネットの意識理論?/鈴木貴之 ● 初期ラッセルにおける、認識論と存在論の関係について/高村夏輝 ●連鎖式ハラドックスとその解決: 概要/吉満昭宏